

安全データシート

作成日 2017年 1月 6日
改定日 2018年 5月 18日

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名: ARCHIST ONEPIECE-GEL メッシュシート

会 社 名: リノブリッジ株式会社

AOS 事業本部

住 所: 東京都新宿区西新宿 1-8-1 新宿ビルディング 5 階

電話番号: 03-6279-4275

E-mail: info@renobridge.jp

推奨用途および使用上の制限: 伸縮目地と床版防水層との接着補強材および伸縮分散材

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

最重要危険有害性および影響

物理化学的危険性

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分外

生殖毒性

区分外

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

区分外

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性

区分外

水生環境慢性有害性

区分外

※ 記載がない危険物有害性は「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

ラベル要素

絵表示又はシンボル: なし

注意喚起語: なし

危険有害性情報: なし

注意書き: なし

国/地域情報: 記載なし

3. 組成、成分情報物質

単一製品・混合物の区分: 混合物

分類に寄与する不純物及び安定化添加物: 有用な情報なし

濃度又は濃度範囲:

成 分	CAS 番号	官報公示整理番号		含有率
		化審法	安衛法	
石油アスファルト	64742-93-4	9-1719	12-189	45~65
ポリエステル	25038-59-9	7-1022	既存	25~35

4. 応急措置

吸入した場合:

加熱させれたアスファルトにより発生した煙などで気分が悪くなった場合、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

医師の手当て、診断を受ける。

皮膚に付着した場合:

外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合：	流水で最低 15 分以上洗眼した後、眼科医の診断を受ける。 コンタクトレンズを使用している場合には、固着していないかぎり取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合：	水で口の中を良く洗浄する。 被災者に意識がない場合は、無理に吐かせてはならず、口から何も与えてはならない。 直ぐに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護：	現在のところ有用な情報なし。
医師に対する特別な注意事項：	現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末、炭酸ガス、耐アルコール性泡、霧状水
特有の消火方法：	付近の着火源を絶ち、消火剤を使用して保護具を着用して風上から消火する。
消火を行う者の保護：	保護衣、状況によっては不浸透性手袋、呼吸保護具、保護眼鏡等。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置：	該当しない。
環境に対する注意事項：	該当しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	該当しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	作業中に静電気が発生する場合があるため、注意する。 作業中は手袋その他保護具を着用する。 火気厳禁。
局所排気・全体換気：	該当しない。
安全取扱い注意事項：	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触を避ける。
接触回避：	静電気の発生により、溶剤等に引火すると火災発生の危険性があるため、近くで引火性の溶剤を使用しない。
適切な衛生対策：	休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。
保管	
保管条件：	雨水、湿気、直射日光を避けて、冷暗所で保管する。
容器包装材料：	弊社より出荷した包装容器を使用すること。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度：	特になし。
設備対策：	特になし。
保護具	
呼吸器の保護具：	必要に応じて保護マスクを使用する。
手の保護具：	必要に応じて保護手袋を使用する。
眼の保護具：	必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚および身体の保護具：	必要に応じて保護儀、安全靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など：	シート状個体(黒色)
臭い：	微臭(アスファルト臭)
pH：	データなし
融点、凝固点：	データなし

沸点、初留点および沸騰範囲: 沸点 78℃以上
 引火点: 260℃以上
 発火点: データなし
 爆発限界: データなし
 蒸気圧: データなし
 蒸気密度(空気=1): データなし
 比重(密度): 1.0 以上(20℃)
 溶解度: 水に不溶。
 トルエン、キシレン等の有機溶媒に良く溶ける。

10. 安定性および反応性

安定性: 通常の貯蔵・取扱いの条件においては安定。
 危険有害反応可能性: 強酸化剤との接触を避ける。
 避けるべき条件: 高温
 混触危険物質: 現在のところ有用な情報なし。
 危険有害な分解生成物: 燃焼の際は、煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成する。

11. 有害性情報

急性毒性: 急性毒性は低いと推定される。
 経口: ラット LD50 5,000mg/kg 以上(アスファルト)
 経皮: ウサギ LD50 2,000mg/kg 以上(アスファルト)
 皮膚腐食性・刺激性: 減圧蒸留残渣油として、ドレイズテストの結果は刺激性なし(アスファルト)。
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性: 常温の個体状態での有毒性に関するデータは確認できない。
 減圧蒸留残渣油として、ドレイズテストの結果、軽度の刺激性が確認されているが、評点から区分外と判定できる(アスファルト)。
 呼吸器・皮膚感受性: 減圧蒸留残渣油として、モルモットに対する皮膚感受性試験において陰性であったとの報告がある(アスファルト)。
 生殖細胞変異原性: 現在のところ有用な情報なし。
 発がん性: 道路舗装等のストレートアスファルトによる長期間に及ぶ「アスファルト・エミッション」による職業ばく露について IARC(国際がん研究機関)は、「グループ 2B」(人に対して発がん性の可能性がある)に分類している(アスファルト)。
 ※なお、IARCは「アスファルト・エミッション」を「加熱され気化した物質及び気体となったアスファルトが空気中で凝集し、小さな粒となり雲状になったヒューム」と規定し、「道路舗装」を「アスファルト混合物製造、運搬、舗設に関する作業」、「職業ばく露」を「作業者が 1 日に 4～9 時間程度を長期間にわたりさらされること」と規定している。
 生殖毒性: 現在のところ有用な情報なし。
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露): 黒ネズミに対し、針入度級アスファルトを 3 ヶ月毎に 200 mg皮下注射を行ったが、解剖所見で皮膚腫瘍は見られなかった(アスファルト)。
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露): 常温におけるほぼ個体状態での有毒性に関するデータは確認できない(アスファルト)。
 吸引力呼吸器有害性: 現在のところ有用な情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性: 現在のところ有用な情報なし。
 水生環境急性有害性: アスファルトの水生環境における生分解性の研究例は見当たらない。
 水生環境慢性有害性: アスファルトの水生環境における生分解性の研究例は見当たらない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 自治体の定めるところに従って処理する。

大量廃棄物： 大量に処理する場合は、知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。海、川、その付近及び排水溝に廃棄をしてはならない。
その他関係法令の定めるところに従う。
汚染容器および包装： 自治体の定めるところに従って処理する。
その他関係法令の定めるところに従う。
その他、廃棄物の処理および清掃に関する法規制の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報： 消防法の規定に従う。指定可燃物(3000 kg以上の場合)
海上規制情報： 船舶安全法の規定に従う。非危険物
国連分類： 該当しない。
国連番号： 該当しない。
特別の安全対策： 現在のところ有用な情報なし。

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物(3000 kg以上の場合)
労働安全衛生法： 通知対象物質(鉱油)
海洋汚染防止法： 油分排出規制
下水道法： 鉱油類排出規制
水質汚濁防止法： 油分排出規制
その他、地域の法規制の定めるところに従う。

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)
製品安全データシート作成指針(日本化学工業協会)
JIS Z 7250 (日本規格協会)
NITE による GHS 分類結果

※ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。